

令和6年度使用
小学校用教科用図書研究報告書

国語
書写
社会
地図
算数
理科
生活
音楽
図画工作
家庭
保健
外国語
道徳

教科用図書見湯採択地区協議会専門委員会

○ 採択の基準(児湯採択地区)

ア 教育基本法、学校教育法に基づき公示された小学校学習指導要領に示されている各教科の目標を十分達成できるものであり、児童の発達の段階に応じた指導を行うために、系統的に編集されているものであること。
イ 教材の内容等が充実しており、各教科で身に付けさせたい資質・能力を育成するための指導の充実につながるものであること。
ウ 指導者及び児童にとって、使用上の利便性があり、児童にとって分かりやすいものであること。
エ 地域の願いや思い、児童の実態等を考慮すること。

○ 採択の観点(小:道徳科)

1 道徳科の目標の達成及び教材の構成・配列等	1 学習指導要領に示された道徳科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。 【基準ア】
2 内容や指導の充実	2 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。 【基準イ】
3 利便性の向上	3 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。 【基準ウ】
4 地域の思いや願いに対する配慮	4 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。 【基準エ】

○ 採択の観点(小:全教科)

1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等	1 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。 【基準ア】
2 内容や指導の充実	2 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。 【基準イ】
3 利便性の向上	3 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。 【基準ウ】
4 地域の思いや願いに対する配慮	4 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。 【基準エ】

研究報告書

国語

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕Ⅰ 学習指導要領に示された教科（道徳科）の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成に関しては、各単元「見通す」「取り組む」「ふり返る」の3段階での学習過程とされており、「ふり返る」段階の「言葉の力」において、単元で育成する力を示すことで、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、指導事項を重点化して段階的に位置付け、6年間を通して螺旋的・反復的に言葉の力を身に付けさせるための工夫が見られる。また、文法と語彙に特化した教材を設け、その中に文を書く活動を取り入れながら、日常の場で使えるようにするための工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成に関しては、「学習の手引き」「学習のすすめ方」において、四つのステップでの学習過程とされており、また、各単元末の「ここが大事」で学習のポイントを示すことにより、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、一つの領域に集中して学習する「基本単元」、複数の領域を関連させて学習する「関連単元」をバランスよく位置付け、指導の重点化を図る工夫が見られる。また、年間を通して使える教材を設け、「書くこと」の日常化に対応できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の構成に関しては、領域に応じた学習過程とされており、導入で「問い」と「目標」を示して見通しをもたせ、終末の「たいせつ」で学習のポイントを示すことで、学習内容の理解と定着を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、複数の領域を組み合わせる一つの単元を設けるなど、効果的に言葉の力を身に付けさせる工夫が見られる。また、各学年に、読書活動「本は友達」、言語の特質や運用「言葉について考えよう」などの特設単元を設け、学習したことの日常化を図る工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

[観点2]

<全教科> 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

<道徳科> 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元の導入でイラストや写真を挿入して児童の学習への期待感を高めたり、「言葉の力」で、身に付けさせる具体的な言葉の力を図解やイラストとともに示したりするなどの工夫がある。また、友達と考えを共有する活動やグループで協力して資料作成や発表を行うなどの協働的な学びにより、主体的・対話的に学習を進められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「言葉相談室」を設け、身近な事物や様子・心情、思考などを表す言葉を取り上げ、語彙を増やして表現を豊かにする力を高める工夫が見られる。また、「言葉の広場」では、発達の段階に応じた言葉を数多く掲載することで、語彙指導の充実を図る工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元冒頭に設定した「見通す」及び「言葉の力」で児童の学びへの自覚を促し、単元末に設定した「ふり返る」及び「生かそう」で児童が自己の学びを振り返ったり、他教科や日常生活へ生かしたりすることができるような工夫が見られる。また、「見通す」では、学び方や読解の手立てを示すことで、児童の思考を深めることにつながる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「読むこと」単元の導入「学びの扉」では文やイラストで児童の学習への期待感を高めたり、「学習のてびき」で言葉による見方・考え方を働かせる思考の流れを示したりするなどの工夫がある。また、意見や感想を述べあう「つたえあおう」やグループで調べて発表する協働的な活動が設定され、主体的・対話的に学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「言葉」「言葉をふやそう」を設け、教材文で使用された特徴的な語句の使い方を重点的に指導できるような工夫が見られる。また、「言葉の木」では、児童がひとつの言葉から連想によって言葉を増やすことができる</p>

	<p>ような語彙指導の充実を図る工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元末に設定した「学習のてびき」の「ここが大事」で、児童が学習したことを他教材でも活用できるような工夫が見られる。また「読むこと」単元の「見通しをもとう」では、4ステップの学習過程、学習活動を支える思考ツールや図による解説、児童の問いの例などを視覚的に示し、児童の思考を深めることにつながるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元に「問いをもとう」が設定され、児童が単元で学ぶことを自分事としてとらえて学びを進められるような工夫がある。また、単元の最後には、興味に沿った課題を児童が選択して学びを進める活動、それぞれが深めた考えを持ち寄って交流する活動が設定され、主体的・対話的に学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「言葉の宝箱」「伝え合うための言葉」「学習に用いる言葉」等、当該学年で身に付けさせたい言葉をまとめたページを設けたり、「季節の言葉」を特設したりして、語彙力を高める工夫が見られる。また、いくつかの「言葉」の教材にも問いをもたせるなど、語彙指導の充実を図る工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元末に設定した「学習」の中の「たいせつ」及び「いかそう」では、育成すべき力や手順、学びのポイント等が示され、児童が学習したことを他教科や日常生活へ活用できるような工夫が見られる。また、「読むこと」単元では、学習が一覧できるよう「見通しをもとう」から「ふりかえろう」までを見開きで示し、児童の思考を深めることにつながるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「QR コンテンツ」の中に掲載されている漢字の読み方や筆順の確認ができ、対面授業だけでなく、家庭における自主学習にも活用できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、各領域の「言葉の力」が一覧としてまとめられており、児童が学びの確認を行うことができる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、紙面上の二次元コードを読み取ることにより、作者や画家の紹介や、単元に関連したwebページが閲覧できることで、発展的な学びに繋がる工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、単元末に学習内容のチェックリストがあり、児童が身に付けた力を自ら振り返ることができる工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、巻頭にブックインブックの形式で、当該学年と前学年の学習内容が示されており、児童が学習の振り返りを進んで行えるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、「書く」「話す・聞く」の単元に学習事項のチェックリストがあり、児童が学びの確認を自ら行うことができる工夫が見られる。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 必要な情報を読み取り、問題解決に活用できるようにするために、「言葉の力」や「じょうほうのとびら」を設け、身に付けたい力や学習のポイントを図解・イラストを使って説明する工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童の考えを深め、判断力を高めるために、教材の最後に設定した「取り組む」で学習の流れを示し児童の考えを整理するとともに、「ふり返る」場面で図やキーワードを活用した学びの振り返りを示す工夫が見られる。</p> <p>(3) 積極的に表現する力を高めるために、全ての単元の冒頭において、「学習の流れ」が示してあり、児童が最終的にどのような言語活動があるのか見通しをもつことができる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 必要な情報を読み取り、問題解決に活用できるようにするために、「じょうほうのまとめ」において用語の説明や情報の取り出し方を整理し、児童が参考にしながら学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童の考えを深め、判断力を高めるために、教材の最後に設定した「見通しをもとう」では、学習の流れと児童の考えを対比させて視覚的に分かりやすく示す工夫が見られる。</p> <p>(3) 積極的に表現する力を高めるために、「大事な言い方」のコーナーや吹き出しで話し方の例が示してあり、児童が書いたり話したりする際に参考にすることができる工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 必要な情報を読み取り、問題解決に活用できるようにするために、「じょうほう」を設け、情報の収集や整理、発信のための具体的な手段についてイラストや具体例を取り入れながら説明する工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童の考えを深め、判断力を高めるために、教材の最後に設定した「見通しをもとう」に「問い」や「目標」を見開きで分かりやすく示したり、考えをまとめる時の観点例を示したりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 積極的に表現する力を高めるために、「読むこと」の単元では、「見通しをもとう」のページを設定し、自分の考えをまとめた後に、「ひろげよう」で表現活動できるような工夫が見られる。</p>

研究報告書

書写

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕Ⅰ 学習指導要領に示された教科（道徳科）の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成に関しては、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう・ふり返ろう」の3段階の学習過程とされており、導入の「書写のかぎ」で学習のポイントを示し、特に重要な語句は色を変えるなど、学習のめあてを意識して取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、書写学習の基礎・基本的な単元を学習した後に言語活動「生活に広げよう」、文字文化に触れる「文字といっしょに」等を配置し、国語や他教科等に活用できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成に関しては、「つかむ・考える」「確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」の4段階の学習過程とされており、導入にためし書きを、終末にまとめ書きを書く欄を設けることで、学習のめあてを自分でふり返ることのできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、単元の終末に言語活動「レッツ・トライ」や文字文化に触れる「知りたい文字の世界」「書いて伝え合おう」等を配置し、国語や他教科等に活用できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の構成に関しては、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階の学習過程とされており、「たいせつ」で学習のポイントを具体的な説明やイラスト等で視覚的に示し、学習内容を自分で確かめることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、単元の終末に言語活動「書写広げたい」や文字文化に触れる「もっと知りたい」「手書きの力」等を配置し、国語や他教科等に活用できるような工夫が見られる。</p>

[観点2]

<全教科> 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

<道徳科> 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元の導入「書写のかぎ」で身に付けさせる書写の能力を示し、「生活に広げよう」で、学習したことをどのように生かしたのかを話し合いにより振り返らせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、文字を整えて書くための書写のポイントを指でなぞって考えさせ、次に毛筆で確かめ、最後に硬筆に生かし、さらに別の文字で練習するという関連させた指導の工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「生活に広げよう」において、絵日記や生活作文、ノート書き方など国語と連動させた言語活動を示し、学習した書写の力を生かすことができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入のためし書きや終末でのまとめ書きの比較をさせたり、「レッツ・トライ」において、どんな書き方をするか意見や感想を述べ合う活動を設定したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、基礎基本となる運筆方法や字形の整え方を、平易な言葉で児童に投げかけ考えさせたり、説明や写真を活用したりしながら日常に生かせるような学習のポイントを分かりやすく示す工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「レッツ・トライ」において、メモの書き方やポスターづくり、はがきの書き方など他教科と関連させた言語活動を示し、学習した書写の力を生かすことができるような工夫が見られる。</p>

<p>38 光 村</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入で、整った文字を書くためのポイントを個人で考えたり、グループで話し合ったりする活動を取り入れた後に学習を進めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、学習の基礎基本となることを「たいせつ」で学んだ後に、実際に毛筆で書いて確かめ、最後に、学習したことを生かして硬筆で書かせることで、学習したことを日常生活に生かす工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「書写広げたい」において、メモの書き方や外国語カードづくり、パンフレットの書き方など他教科と関連させた言語活動を示し、学習した書写の力を生かすことができるような工夫が見られる。</p>
---------------	--

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、学習内容を系統的に分類・整理してインデックスに示したり、巻末で既習事項が一覧できるようにしたりすることで、児童がすぐに振り返り、学びの確認ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、色覚の多様性に配慮し、配色やデザインにおいて工夫が見られる。低学年では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語を使って表現する工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、基本の筆遣いを大きく朱墨写真で取り上げたり、学習のポイントを具体的に説明したりすることで、個の課題に応じて主体的に学習が進められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、運筆方法や字形の整え方などの解説を加えた写真や図版の活用に工夫が見られる。低学年では、鉛筆の持ち方を段階的に写真で示したり、間違いやすい書き順を例示したりする工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、朱墨で筆順が分かるものや、学習の参考となる豊富な資料や硬筆欄を掲載することで、児童の関心・意欲に応じて学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、色覚の多様性に配慮した色の組み合わせの工夫が見られる。低学年では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語や写真を使って表現する工夫が見られる。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 問題解決に向けた資質・能力を高めるために、各単元の冒頭に比較して考えさせる例を具体的に示す工夫が見られる。 (2) 積極的に表現する資質・能力を高めるために、「生活に広げよう」や「学びをいかそう」で、学習事項を活用する具体的な場面を示す工夫が見られる。
17 教 出	(1) 問題解決に向けた資質・能力を高めるために、「ここが大切」に学習の視点を簡潔にまとめる工夫が見られる。 (2) 積極的に表現する資質・能力を高めるために、「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」で、児童が学んだことを活用できるようなポイントを示す工夫が見られる。
38 光 村	(1) 問題解決に向けた資質・能力を高めるために、「学習の進め方」で学年の発達段階に応じた学習の流れを示す工夫が見られる。 (2) 積極的に表現する資質・能力を高めるために、「書写広げたい」で、学んだことが活用できる場面を簡潔に示し、児童の考えが広がるような工夫が見られる。

研究報告書

社会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題や「まなびのポイント」、アニメのキャラクターの吹き出しを具体的に示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を踏みながら単元を進める展開になっており、課題意識をもって学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各学年の最初に「学習の進め方」のページを設け、学びの振り返りを大切にされた問題解決的な学習を具体的に例示したり、随所に「まなびのポイント」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>
17 教出	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題や子どものキャラクターの吹き出しで考える視点を示すなどして「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という段階を踏みながら単元を進める展開になっており、単元を通して一貫した追究ができるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各学年の最初に「社会科の学習の進め方」のページを設け、学びの連続性を意識した問題解決的な学習を具体的に例示したり、随所に「学びのてびき」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p>
116 日文	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題を示したり、動物のキャラクターの四角囲みで見方・考え方を具体的に例示したりするなどして、学習問題を解決しながら単元を進める展開になっており、「調べたいこと」「調べ方」「まとめ方」などの見通しをもって学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各学年の最初に「社会科の学習の進め方」のページを設け、課題追究を主とした問題解決的な学習の流れの図を例示したり、随所に「学び方・調べ方コーナー」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるように工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) アニメのキャラクターが目印の「見方・考え方」のコーナーを設け、本時の学習の際の手がかりとなる、「空間」「時間」「相互関係」といった視点を提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習上重要な用語を「ことば」として提示したり、学習場面に応じた「まなび方コーナー」や「調べること」の欄を設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において児童が自分にできることなどを考え、選択・判断する活動を設けたりすることで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、児童が発展的な学習をさらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>
17 教出	<p>(1) 学習の視点や方法を示した特設コーナーを設けたり、随所にキャラクターの吹き出しの中で「見方・考え方」を具体的に提示したりすることで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習上重要な用語を「キーワード」として提示したり、学び方を解説した「学びのてびき」や「やってみよう」の欄を設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 複数の立場や意見を踏まえた対話的な学習ができるよう、「まとめる・つなげる」を中心に学習の整理の仕方や多様な表現方法が例示され、主体的に選択・判断しながら「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の末尾に、「もっと知りたい」コーナーを設け、児童が関心や意欲に応じて、活用できる発展的な資料を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>

116 日文	<p>(1) 「空間」「時間」「関係」の三つの視点で整理された「見方・考え方」のコーナーを設け、比較・関連付けなどの具体的な考え方を提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習上重要な用語を「キーワード」として提示したり、調査や表現活動などが発達の段階に応じて示された「学び方・調べ方コーナー」を設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童が互いに話し合い、多面的に考えたり理解したりできるよう「深め合い」活動のコーナーが提示され、社会との関わり方を選択・判断しながら、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の末尾に「未来につなげる」のコーナーを設け、児童が課題意識をもった内容をさらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>
--------	--

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。「まとめる」段階に学習問題を再提示したり、単元で出てくるキーワードが示された「ことば」欄を配置したりすることで、学習内容を振り返りやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 「二次元コード」が随所に配置してあり、学習に役立つ動画やワークシート、クイズなどの豊富なコンテンツを活用でき、学習を深めることができる工夫が見られる。</p> <p>(3) 各種資料等については、学習の示唆を与える様々なキャラクターが登場し、用途に応じた大小の写真や図が多く掲載されている。また、本文には独自の教科書体、その他の箇所はUDフォントを使用するなど、児童が見やすく読みやすい配慮が見られる。</p>
17 教出	<p>(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。各学年の巻頭ページに「社会科で使う見方・考え方」や「社会科の学習の進め方」を例示したコーナーを配置することで、見通しをもちながら学習が進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 「まなびリンク」が随所に配置してあり、学習に役立つ動画や音声、資料などを学習場面に応じてアクセスすることができ、学習を深めることができる工夫が見られる。</p> <p>(3) 各種資料等については、学習の示唆を与える様々なキャラクターが登場し、落ち着いた色調で、大きめの写真や図が多く掲載されている。また、本文をはじめとする文字は、UDフォントを使用するなど、児童が見やすく読みやすい配慮が見られる。</p>

116 日文	<p>(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。単元の始めに「学習のまど」を提示したり、「見方・考え方コーナー」を随所に設定したりすることで、問題意識を焦点化し、見通しをもって学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 「教科書QRコンテンツ」が随所に配置してあり、学習に役立つ動画や画像、スライドショーなどにアクセスでき、学習を深めることができる工夫が見られる。</p> <p>(3) 各種資料等については、学習の示唆を与える様々なキャラクターが登場し、あざやかな色調で、大きめの写真や図が多く掲載されている。また、本文をはじめとする文字は、UDフォントを使用するなど、児童が見やすく読みやすい配慮が見られる。</p>
---------	---

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 「ことば」「見方・考え方」等のコーナーを配置し、実生活に生かす学習を設定するなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 「まなびのポイント」のコーナーを配置し、学習内容を生かして説明したり、話し合ったりする場面を設けるなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p>
17 教出	<p>(1) ワイドな資料・想像図やカラー化した写真を掲載し、読み取る要素を精緻にするなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 対話的な学習方法を紹介する「まとめる」の中に ICT の活用をはじめ、多様な表現活動を紹介するコーナーを設けるなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p>
116 日文	<p>(1) 「見方・考え方コーナー」を設け、学習問題を追及・解決する手だてを示すなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の末尾に、学習した内容を用いて話し合ったり、説明したりすることや、表現の具体例を示すコーナーを設けるなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p>

研究報告書

地図

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、「地図学習」のページを特設し、親しみやすいキャラクターがガイドしながら地図学習の基礎の定着を図ることができるような配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 資料地図では、一つ一つのテーマに即した資料を多く配置することで、調べる視点を広げて、社会的な見方・考え方を働かせながら思考させるための構成の工夫が見られる。</p>
46 帝国	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、「3年生の学習」のページを特設し、写真やイラストを多く活用しながら地図学習の基礎の定着を図ることができるような配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 資料図では、細かな資料を厳選して見やすく配置することで、複数の資料を関連付けて、社会的な見方・考え方を働かせながら思考させるための構成の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」により、学習への手がかりを提示している。また、多様な資料及び学習に役立つサイトのリンク集や、タブレット端末をタップすることで白地図との切替えができる地図をまとめた二次元コードを設置するなど、地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 他教科等でも活用できるように、世界の動物や料理、人物などについて写真やイラストで紹介したり、様々な人物の記念館を地図上に示したりするなど、生きて働く知識・技能を習得できるような工夫が見られる。</p>
46 帝国	<p>(1) 「トライ！」や「地図マスターへの道」により、学習への手がかりを提示している。また、多様な資料及び学習に役立つサイトのリンク集や、タブレット端末をタップすることで調べたい視点での切替えができる地図をまとめた二次元コードを設置するなど、地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 他教科等でも活用できるように、世界のあいさつを音声コンテンツと合わせて紹介したり、楽曲やお話の舞台、外来語を地図上に示したりするなど、生きて働く知識・技能を習得できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 地図については、地形の陰影をなくすことで、複雑に見える部分をシンプルにしたり、目印となる記号の色だけでなく形も変えたりするなど、すべての児童にとって見やすく分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 資料掲載については、「日本の歴史」において、年表と世界地図を関連付け、見開き2ページにわたって掲載することで、児童が日本と世界とのかかわりに気付いたり、理解を深めたりできるような工夫が見られる。</p>
46 帝国	<p>(1) 地図については、児童の興味・関心を引きつけるようなイラストを配置したり、重要な地名を太く大きくし、文字のまわりに縁取りを付けたりするなど、すべての児童にとって見やすく分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 資料掲載については、「日本の産業」において、グラフや図を精選し、地図を大きく掲載することで、児童が生産量の変化や地域の特性に気付いたり、理解を深めたりできるような工夫が見られる。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東書	<p>(1) 児童や動物のキャラクターを随所に配置し、地図活用の手掛かりを児童の言葉で提示したり、地図を見る視点を示したりするなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 問いと作業のコーナー「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設定し、地図を見ながら取り組むクイズや作業を随時配置し、地図への関心を高めるとともに、楽しみながら地図学習に取り組むことができるようにするなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p>
46 帝国	<p>(1) 地図の見方を示唆し活用を促すキャラクターの配置により児童自らが地図に着目したり地図から考えたりできるようにするなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 地図に対する興味・関心を引き付け、地図活用技能や知識が身に付くような問いのコーナー「地図マスターへの道」を随所に配置し、主体的に地図に関わりながら児童が楽しく学習活動に参加できるようにするなど、積極的に表現する資質・能力を高めるための工夫が見られる。</p>

研究報告書

算数

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「ほじゅうのもんだい」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、学習内容の系統性を意識しながら理解を深められるように、関連性のある単元を連続的に配置するなどの構成・配列の工夫がされている。</p>
4 大日本	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた単元末の「たしかめ問題」や巻末補充問題「プラス・ワン」で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、関連性のある単元を前後に配置したり、学習内容の系統性、領域のバランス等を考慮したりするなどの構成・配列の工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、補充的・発展的な課題に取り組むことができる「もっと算数」、「できるようになったこと」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、連続して扱うことで身に付く学習内容と、スパイラルを意識することで身に付く学習内容を選別して配置するなど、児童にとって学びやすい構成・配列の工夫がされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じて練習問題量を調整できる「ステップアップ算数」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、関連性のある単元を連続して配置することで、既習事項を活用しながら習熟を図ることができる構成・配列の工夫がされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「もっと練習」や単元末の「学びのまとめ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、児童が苦手としやすい単元を分割して配置し、年間を通して定着が図られるようにするなど、スパイラルを意識した構成・配列の工夫がされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の定着を図る「学習をたしかに」、習熟度に応じた「算数マイトライ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、計算などの基本的な内容は前の時期に配列し、児童が苦手としやすい単元は後ろの時期に配列するなどの構成・配列の工夫がされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、吹き出しや補助発問を単元前半は丁寧に、単元中盤から後半はシンプルに設定して思考の活性化を図るなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 計算方法の確認動画や、不足しがちな図形単元の追加練習問題等の演習コンテンツを豊富に設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、思考の流れに即したノートづくりや、ICT 機器を活用した際のノートの活用例を掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
4 大日本	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「じっくり深く学び合おう」を適宜設定し、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動を設けるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 豊富な適用問題や、巻末補充問題「プラスワン」を全単元に設定し、学習の個別化が実現できるようにするなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、1学年からノートの書き方例を段階的に掲載し、徐々に表現力も向上させるなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、単元導入で「はてなを発見」を設定し、生活や算数の中にある問題を自らの力で見つけることができるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 特に児童がつまずきやすい内容や苦手とする内容を「算数パトロール隊」として適宜設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、2学年から「ノート名人になろう」を設け、表現力を育むノート作りのポイントを掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>

17 教 出	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「はてな」「なるほど」などの吹き出しを使って、問いをもち、学び合い、考えを深める授業を展開できるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に「学びのマップ」を設定し、既習事項を振り返る際に、いつでも確認して学び直しができるなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、ノートを見合う活動を取り入れて、互いの考え方や表現の仕方を学べるようにするなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、めあてにつながる問いや気づきを掲載して主体性をもたせ、その後の学び合いで深めたいポイントを見える化するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に「もっと練習」を設定し、補充問題や挑戦問題を用意して、習熟度別学習にも対応できるようにするなど、確実に「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、2学年から「算数ノートをつくろう」を設け、振り返りに役立つポイントを示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、毎時間に「めあて」と「まとめ」を設け、学習過程を可視化するとともに、筋道を立てて考えるための着眼点を示すなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末の「算数マイトライ」で、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」の習熟度別の問題を設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、思考過程や友達の考えを書き示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 児童にとって分かりやすくするために、第3学年以降の単元導入には、学校や日常生活との関連を重視した動画コンテンツ「オープニングムービー」を適宜設定することで、児童が学習動機を明確にもち、学ぶ意義や楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組む態度を育てるように配慮されている。
4 大日本	(1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の教科書を学年1冊にするとともに、「ふりかえりコンテンツ」や「練習問題コンテンツ」など、充実した適用問題、補充問題を設定することで、児童が学び直しを行いやすく、知識・技能を身に付けることができるように配慮されている。
11 学 図	(1) 児童にとって分かりやすくするために、算数における「見方・考え方」をキャラクター化し、教科書の適切な箇所に示すことで、児童が自分の考えを広げたり、新しい考え方を発見したりして、楽しみながら学習を進めることができるように配慮されている。
17 教 出	(1) 児童にとって分かりやすくするために、各単元のまとめとして4コマ漫画や穴埋めでまとめる場を設定したり、つまずきやすい問題をクローズアップしたりすることで、児童が学んだことを意欲的に振り返り、「考えるヒント」を見て自分で考えることができるように配慮されている。
61 啓林館	(1) 児童にとって分かりやすくするために、1単位時間の学習内容をページ末で区切り、「めあて」と「まとめ」を明記するとともに、「数学的な考え方」を明確化して掲載することで、児童が主体的に学習に取り組み、対話的な学びが充実するように配慮されている。
116 日 文	(1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の巻末に問題解決の過程や、算数で使いたい「見方・考え方」を示したシートをつけることで、児童が学習を進める際の着眼点に気付き、特に、思考力・表現力を身に付けることができるように配慮されている。

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるために、児童の日常生活を中心にした素材を取り扱う学習課題や問題解決の学習を重視した「今日の深い学び」を設定したり、学習した内容を現実の場面で問題解決に活用していく「いかしてみよう」のコーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。
4 大日本	問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるために、児童自身が、問題や疑問を見だし、主体的に取り組めるよう、学習の導入時に「新しい学習が始まるよ」を設けたり、資料をもとに分析し話し合う活動や、自分の考えを表現する活動といった多様な解決方法に触れる機会を設けたりするなどの工夫が見られる。
11 学 図	問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質能力を高めるために、さまざまな表現力を育むことができるように、言葉での説明、図や表を使った説明などの活動を随所に取り入れたり、学んだことを統合的・発展的に深化できるように「ふかめよう」や「ふりかえろう つなげよう」のコーナーを設定したりするなどの工夫が見られる。
17 教 出	問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるために、算数の学習と日常の場面をつなげて使える学力を高めるよう「算数を使って考えよう」のコーナーを設けたり、より深く算数のおもしろさを味わえるよう、興味関心を刺激する探究的な教材を掲載する「広がる算数」のコーナーを設定したりするなどの工夫が見られる。
61 啓林館	問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質能力を高めるために、分かったことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を例示したり、思考力・判断力・表現力等を日常の生活に活用し一層伸ばすことができるように、単元末に「学びをいかそう」のコーナーを適宜設定したりするなどの工夫が見られる。
116 日 文	問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるために、SDGs を意識した問題を取り入れ、算数の世界の広がりや身近さを感じることができる事例を紹介する「算数ジャンプ」を設けたり、考えたことをもとに話し合う活動を設定する「自分でみんなて」や「学び合おう」のページを設定したりするなどの工夫が見られる。

研究報告書

理科

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 問題解決の段階の中で「のぼそう！理科の力」を設定し、各学年で重点的に育成する問題解決の力を確実に育成することができるように工夫されている。また、「広げよう！理科の発想」を設定し、他教科を含めた既習内容と関連付けながら学習ができるような工夫が見られる。
4 大日本	(1) 「算数科とつなげよう」などを設定し、他教科等で学んだことも生かして学習の理解が深まるように工夫されている。また、単元末で「りかのたまてばこ」や「防災」を設け、学んだことを環境保全やキャリア教育、防災教育などと結び付けて学習できるような工夫が見られる。
11 学 図	(1) 単元の導入では、「できるようにになりたい」で、その単元で高めたい資質・能力をしばって設定し、児童自身が身に付けなければならない力を意識できるように工夫されている。また、単元末では「できるようになった」を設定し、導入場面と対応させ、身に付いた力を振り返る工夫が見られる。
17 教 出	(1) 単元の導入では「学習のつながり」を設け、各学年間の関連する既習単元や発展単元を中学校まで示し、学習の系統が意識できるように工夫されている。また、「〇年のチカラ」を設定し、その学年で主に育成する問題解決の力を児童が意識しながら、学習することができるような工夫が見られる。
61 啓林館	(1) すべての単元の導入で「思い出そう」を設定し、日常生活や既習内容を振り返ることができるように工夫されている。また、問題解決の各段階を視覚的に分かるように示し、1本のラインでつなぎ、本文と分けて配置することで、児童が学習に見通しをもって取り組めるような工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、各場面で主に働かせる見方・考え方を、青枠で囲んだり、キャラクターのセリフで思考や表現の例を示したりしている。また、「1年間をふりかえろう」で、身に付けた見方・考え方を確認できる工夫が見られる。</p> <p>(2) まとめの文章は箇条書きにしたり、すべて振り仮名をつけたりして児童が知識・技能を確実に習得できるようにするとともに、単元末の「たしかめよう」では、学力調査の枠組みに沿った問題を用意することで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 単元導入において、事物・現象の比較を通して対話し、他者とかかわりながら、問題意識を高める場面が設定しており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、各学年の巻頭に理科の考え方を意識するきっかけとなる見開きを設定している。また、問題発見や考察の場面では、理科の見方につながる着目点として、「ココに注目」を設け児童自身で見方を働かせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 巻末の「〇年までの学びとつなげよう」では、下位学年と当該学年の学習内容の関連を示したり、複数の単元の学習内容をまとめた「学びをリンク！」で関連を確認できるようにしたりすることで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 問題設定の場面における「ココに注目」では、事物・現象をとらえる視点が示してある。その視点をもとに他者との対話を通して問題を焦点化する設定となっており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

11 学 図	<p>(1) 児童が問題を科学的に解決できるよう、巻頭に理科の見方を領域ごとのゴールで表すことで、具体的な見方も示している。また、学年で働かせる考え方も示され、本文中でも、キャラクターにこれらの考え方を意識した発言をする工夫が見られる。</p> <p>(2) 「ふりかえろう」の活用場面で身近な内容に置き換えて説明することで、知識・技能の定着を確かなものとする工夫がなされている。器具の使い方では注意点を多くの写真等で示し、理解しやすくすることで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができると見られる。</p> <p>(3) 観察・実験後に考察の視点が端的に整理して示されている。その視点を基に個人思考を行ったり、他者との対話を行ったりすることを通して結論を導く構成となっており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を設け、考え方を話型で示している。また、見方・考え方を働かせている児童の発言例に「見方のカギ」「考え方のカギ」のマークを付ける工夫が見られる。</p> <p>(2) 第4～6学年の巻頭に、「〇年で学んだこと」を設け、児童が前学年で習得した知識をいつでも繰り返し用いることができるようにするとともに、「確かめよう」では関連するページの該当箇所を具体的に示すことで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができると見られる。</p> <p>(3) 観察・実験の結果をもとに考察する場面では、キャラクターを活用して予想や検証方法の妥当性を考える場面が設定しており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

<p>61 啓林館</p>	<p>(1) 児童が理科の見方・考え方を働かせながら問題を科学的に解決できるように、巻頭の「理科を楽しむ見方・考え方」で、見方・考え方を端的に例示している。また、巻末の「理科の見方・考え方が役に立ったよ!」では、見方・考え方が日常生活でも役立つ場面を紹介する工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元導入や本文中の適所に「思い出そう」を設定し、既習事項や日常経験を確認・共通理解した上で、単元の学習を進めるとともに、単元末の「くらしとリンク」では実生活と関連した題材を扱うことを通して、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができると見られる。</p> <p>(3) 単元導入でパフォーマンス課題を設定し、児童自身が課題意識をもって学習に取り組み、単元の学習後に導入と同じ課題を考えさせる場面が設定されており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
---------------	--

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 「観察」及び「実験」では、拡大した写真や絵、図が提示されており、細部や動植物のつくりが明確で分かりやすく、児童が主体的に問題解決に取り組みながら、観察や実験ができるような工夫が見られる。
4 大日本	(1) 単元の導入は見開きで構成し、学習問題を見いだすページを設け、生活経験を基にした児童の気付きや吹き出しを提示することで、主体的に学習問題を見いだすことができるような工夫が見られる。
11 学 図	(1) 理科の見方・考え方及び育成すべき資質・能力が問題解決の各場面で「理科モンスター」として示されており、当該学年でどのような力をつければよいか確認しながら学習できるような工夫が見られる。
17 教 出	(1) 単元ごとに学習者のモデルが設定されており、児童が主人公と自分を重ね合わせながら、学んでいく過程を通して、問題を科学的に解決していく力を自然に身に付けられる工夫が見られる。
61 啓林館	(1) 理科の学習をベースに、技術やものづくり、アート、数学的な発想を組み合わせた題材を配置し、実社会での問題発見、解決に生かす STEAM 教育を紹介し、教科横断的な視点が養われるような工夫が見られる。

4 地域の思いや願いに対する配慮

[観点4] 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図るため、児童一人ひとりの特性や興味・関心、学習到達度に応じた多様なコンテンツを二次元コードで提供したり、一人一台端末のいろいろな活用方法を写真やイラストで分かりやすく紹介したりして、児童主体の問題解決的な学習をサポートするような工夫がなされている。</p> <p>(2) 日常生活や社会との関連を深めるため、節末や単元末に「広げよう！理科の発想」「理科の世界 たんけん部」といった読み物や活動を設けている。また、問題解決に向け、予想を確かめる方法を考える段階で、既習内容と関連させながら計画を立てさせる工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図るため、リモート学習にも考慮したデジタルコンテンツを二次元コードで多数用意している。また、タブレットの活用が考えられる活動では、写真やイラストなどを掲載したり、論理的な思考力が身に付くようにプログラミング教育を取り入れたり、多様な学習活動が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 日常生活や社会との関連を深めるため、「理科のたまてばこ」「防災」「Science World」といった豊富な資料を、SDGsや伝統文化の視点から設定している。また、問題解決に向け、予想を確かめる方法を考える段階で、一貫して解決方法を改めて問うことで、計画を立てさせる工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図るため、児童に必要な動画や資料を二次元コードで提供し、随時閲覧できるようにしたり、学習前の確認や学習後の振り返りの問題を二次元コード経由で行うことで学びをつなげたりして、知識及び技能が確実に身に付くことができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 日常生活や社会との関連を深めるため、考えたことにつながる資料として「もっとしりたい」を、くらしや仕事の視点から設定している。また、問題解決に向け、予想を確かめる方法を考える段階で、複数の視点を端的に示しながら、計画を立てさせる工夫が見られる。</p>

17 教 出	<p>(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図るため、デジタルコンテンツが有効な場面には二次元コードで解説動画や使い方動画を用意したり、気象・植物・SDGsについては、限られた紙面で伝えきれない情報をウェブ図鑑で用意したりするなど、紙とデジタルの融合が図れるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 日常生活や社会との関連を深めるため、学習に役立つ「資料」や身の回りの現象を取り上げた「科学のまど」を、SDGsの目標アイコンと対応させながら設定している。また、問題解決に向け、予想を確かめる方法を考える段階で、「先生」が児童の対話を促しながら、計画を立てさせる工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を図るため、個別最適な学びと協働的な学び、もっと知りたいにこたえる等に使えるようなデジタルコンテンツを多数用意したり、「やってみよう！プログラミング」を全学年に設け、プログラミング的思考を段階的に育成したりして、一人一台端末の効果的な活用ができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 日常生活や社会との関連を深めるため、「くらしとリンク」では、STEAM教育と関連付けたり、「with the Earth」として防災の内容を、設定したりしている。また、問題解決に向け、予想を確かめる方法を考える段階で、話し合いでICT機器を活用しながら、計画を立てさせる工夫が見られる。</p>

研究報告書

生活

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 生活科の目標を達成するために、身近な自然を利用した学習活動や郷土・地域の人々に愛着をもつことに関する学習活動を重視した構成になっている。季節を取り扱う単元では、「夏」「秋」「冬」「春」で構成され、「春」においては、自然だけでなく季節による人々の生活の様子や暮らしの変化に目を向けさせ、自分自身や自分の生活について考えられるような配列の工夫が見られる。
4 大日本	(1) 生活科の目標を達成するために、生命の尊さを実感する学習活動や、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を重視した構成になっている。夏休み前は自然や生き物にふれあえる単元を配列し、まちの身近な人々について取り扱う単元を夏休みの後に配列することで、対象に連続的に関わり、その特徴やよさ・自分自身について深い気付きを促す工夫が見られる。
11 学 図	(1) 生活科の目標を達成するために、生命や自然を尊重する学習活動や伝統的な遊びや行事に愛着をもつ学習活動を重視した構成になっている。家庭生活にかかわる単元では「家族へ感謝を伝える」という思いをもちながら活動を進めていく単元構成となっており、家の仕事に挑戦し、大変さを実感しながら生活上必要な習慣や技能が身に付けられるような工夫が見られる。
17 教 出	(1) 生活科の目標を達成するために、季節の移り変わりについての学習活動や自然の不思議さを実感する学習活動を重視した構成となっている。季節の自然を取り扱う単元では、「春」「夏」が一つの単元に設定されており、季節ごとの様子や活動したことを意識したり、振り返って比較したりしながら、児童の気付きが高まっていくような工夫が見られる。

38 光 村	<p>(1) 生活科の目標を達成するために、生命を尊ぶ態度を育む学習活動や、身近な地域への親しみをもつ学習活動を重視した構成になっている。町の公共施設を焦点化した大単元が設定され、利用したり話を聞いたりする具体的活動を通して、自分の地域への興味・関心を高め、それらの関わりなどに気付かせるような工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 生活科の目標を達成するために、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動や、命のつながり・命の尊さを実感する学習活動を重視した構成になっている。2年生の始めに「1年生をむかえよう」という単元が設定され、自分の既存の経験や思いを振り返りながら1年生の迎え方や関わり方に気付き、身近な人々に適切にかかわることができるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 紙面下段の「学びをふかめる」コーナー、学習活動や思考の流れを示した「学びのプロセス」の例示など、児童の気付きの質を高める手立てがとられており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 公園での約束などの安全安心に配慮した「やくそくコーナー」や巻末の「かつどうべんりちょう」など、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 絵本や新聞、巻物、デジタル図鑑などの多様な表現方法の例示など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 活動のページでは、多くの写真やイラスト、吹き出しで児童の活動の幅を広げるなど、児童の気付きの質を高める手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 道路の歩き方や学び方などがまとめられた「がくしゅうどうぐばこ」や語彙力を向上させるための「ことば」コーナーなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 自分の思いや願いを書くスペース、心の動きを表情として描く「気持ちマーク」など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 単元ごとに主となるキャラクターを設定し、学習を通して変容し、成長していく姿を通して児童の気付きの質が高まる手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 季節に応じた様々な遊びの紹介、巻末の生活上必要な習慣や技能を身に付けられるコーナーなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 顔マークで自己評価を促し、単元末には「もっと○○したい」ページが設けてあるなど、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。</p>

17 教 出	<p>(1) 各単元の導入では、既存の経験や興味・関心に合わせた学習を選択するページや、試行錯誤を促す「まとめいろ」など、児童の気付きの質を高める手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 身に付けさせたい約束やヒントのコーナー、挨拶や道具の使い方などを示した「学びのポケット」があるなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 振り返りを書き込む「なにをかんじたかな」、自己評価ができる「ぐんぐんはしご」など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 大単元末には対話を通して振り返ることができるページや児童のつぶやきを描いた「こんなことあるかもね」コーナーなど、児童の気付きの質を高める手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 活動のヒントや考え方などを示した「学び方のヒント」が豊富に示されているなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 小単元に活動中の気持ちを思い出す「きづいた」「くらべた」などの観点を示した「ふりかえろう」を位置付けるなど、児童の表現力を高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成する単元の流れにより、児童の意欲を喚起し、直接体験を大切にしながら伝え合いを充実させる手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 植物や生き物、安全や健康に関することがまとめられた図鑑、学習のヒントとなる「まなびのひんと」など、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「できるかなできたかな？」の振り返りコーナーや学びを広げる「ひろがるきもち」など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 上巻末に実物大植物を掲載した「いきものずかん」と二次元コード「デジタルいきものずかん」など、具体的な例示や資料を随所に設けることで興味・関心を高め、また植物の成長を比較できる「パノラマページ」で成長や変化に気付かせるなど、学びを深める工夫が見られる。
4 大日本	(1) アサガオなどの写真やイラストを原寸大で掲載し、児童自身の経験と比較しやすい視点をもつようにすることで興味・関心を高め、また「がくしゅうどうぐばこ」を設け具体的な学び方を例示することで学習活動へのイメージをもち、主体的な活動に取り組める工夫が見られる。
11 学 図	(1) 季節や地域に合わせた「ものしり図かん」などの資料ページを設けることで興味・関心を高め、また「もっとみつきたいな。」などの自発的な言葉をもとにしたリード文によって、次の活動をイメージすることができ、自ら活動を広げることができ工夫が見られる。
17 教 出	(1) 単元冒頭の「わくわくすいっち」で学習過程をイメージできるようにすることで興味・関心を高め、またキャラクターと共に学ぶ「はっけんロード」では、セリフをヒントに学習をとらえたり進めたりすることで、見通しをもって学習に取り組むことができる工夫が見られる。
38 光 村	(1) 学びに合わせて活用できる別冊「ひろがるせいかつかじてん」を設け、実際の活動で切り離して持ち運ぶことができるように工夫されている。絵本作家による個を大切に言葉やイラストが掲載され、安心して自分の学びを進めることができる工夫が見られる。
61 啓林館	(1) 図鑑編集者監修写真が掲載された「びっくりずかん」や気付きの視点を問いかけて示すなど、興味・関心を高め、また次の活動のヒントとなる気付き、思いや願いを「めくり言葉」として表記することで、次時活動に見通しをもち、活動が連続して進められる工夫が見られる。

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 気付きの質を高めるために、「学びをふかめる」コーナーで気付きを関連付けたり視点を換えとらえ直したりする工夫が見られる。小單元ごとに育成を目指す資質・能力を本文とマークで明示し問題解決的な流れの構成となる工夫が見られる。</p> <p>(2) 幼児期からの学びをつなぐために、スタートカリキュラムのページが特設されており、幼児期教育との接続が工夫されている。中学年に学びをつなぐために、巻末に「かつどうべんりてちょう」として学び方が掲載されており、中学年以降の学びの基盤として活用できるよう工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 気付きの質を高めるために、キャラクターや教師の吹き出しがヒントにつながる工夫が見られる。見つける・比べる・例える・試す・見通す・工夫するなど多様な活動を紹介し、気付きを伝え合う活動を充実させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 幼児期からの学びをつなぐために、スタートカリキュラムのページが設けられており、学校生活への楽しさに気づかせ不安を解消する工夫が見られる。中学年に学びをつなぐために、児童が成長を振り返るとともに、3年生以降の総合的な学習の時間の流れを意識した構成の工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 気付きの質を高めるために、キャラクターの吹き出しを追うと、気付きのヒントとなるような工夫が見られる。情報量を制限することで、気付きを引き出したり、「ものしりノート」や「ものしりずかん」で補完したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 幼児期からの学びをつなぐために、スタートカリキュラムのページではイラストを多く使うことで、児童の不安を解消し、学校生活を意識させる工夫が見られる。中学年に学びをつなぐために、各單元が課題解決的な活動で構成され、社会や理科、総合的な学習の時間の素地が養われる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 気付きの質を高めるために、「わくわくスイッチ」「はっけんロード」「かんがえまとめいろ」など、気付きを活動やまとめへとつなげる工夫が見られる。また、板書やワークシートの例も掲載されており、イメージを膨らませる工夫が見られる。</p> <p>(2) 幼児期からの学びをつなぐために、スタートカリキュラムのページにおいて学校生活の写真が詳しく掲載されており、学校生活をイメージしやすくする工夫が見られる。中学年に学びをつなぐために「はってん」コラムや巻末では、中学年以降の各教科へのつながりを具体的に示す工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 気付きの質を高めるために、写真や吹き出しを見て学習過程をイメージできるという工夫が見られる。「学び方のヒント」が全ての小単元に設定され、大切になる考え方や活動、表現の手がかりを示す工夫が見られる。</p> <p>(2) 幼児期からの学びをつなぐために、児童が絵本感覚で絵を見て発見するという幼保で慣れ親しんだ活動から始め、主体的に活動に取り組む工夫が見られる。中学年に学びをつなぐために、巻末に中学年以降で生活科の学習が活かされる教科について触れており、学習への関心を高める工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 気付きの質を高めるために、ためす・工夫する・くらべる等の学びのキーワードが示されていて、思考を深めるヒントとなる工夫が見られる。「めぐり言葉」で学びを連続させ、気付きを深めさせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 幼児期からの学びをつなぐために、「スタートブック」が特設され、入学前の活動を振り返りながら、学校生活をイメージできるような工夫が見られる。中学年に学びをつなぐために、巻末に「3年生へのステップブック」が特設されており、入学前からの学びが見開きで確認できる工夫が見られる。</p>

研究報告書

音樂

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、主要部分の教材と選択可能なオプション部分を組み合わせて扱うことができるように配慮されている。</p> <p>また、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように題材が構成されている。題材によっては、表現教材と鑑賞教材を関連させて学習するものや、学びの中で身に付けた内容を次の題材で生かすことができるように設定されており、学習がより深まるように工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、題材ごとに、1つの題材の中から教材や学習活動を選択することができるように配慮されている。</p> <p>また、音楽を形づくっている要素を中心に題材が構成され、各教材が「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育めるように設定されている。各題材の中に表現活動と鑑賞活動のそれぞれの領域の教材が設定されており、多様で効果的な学習が展開できるように工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年の巻頭に「学習マップ」が新設され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、児童が気付いた「音楽を形づくっている要素」等を書き込む「メモ欄」を中学年から設けるなど、主体的に学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、見開きごとに「音楽のもと」として明記された「音楽を形づくっている要素」を、表現（歌唱、器楽、音楽づくり）や鑑賞の学習活動において焦点化し、相互に関わらせるような工夫が見られる。また、「音楽を形づくっている要素」をもとに、思いや意図に合った表現のための技能を身に付けるための発問例や活動例が掲載されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「思考力・判断力・表現力等」の育成を意識した発問例が「まなびナビ」に示されたり、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されたりしている。また、児童がワークシート等の資料を二次元コードで読み取る「まなびリンク」が示されるなど、児童が思いや意図を生かして表現したり、音楽の魅力を感じ取ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、見開きごとに学習のねらいが示されるとともに、学び方が「まなびナビ」で示され、児童が題材ごとの学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるように工夫されている。また、歌唱曲の歌詞の内容に忠実な写真を掲載するなど、人々の生活と音楽を結びつけるような資料や教材の工夫が見られる。</p>

27 教 芸

- (1) 児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年の巻頭に「学習マップ」が掲載され、学習の進め方について分かりやすく示されている。また、学習活動が、「考える（思考力、判断力、表現力等）」「見つける（知識）」「歌う、演奏する、つくる（技能）」に分けて具体的に掲載されるなど、主体的に学習を進められる工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、各教材ページ端に示された「音楽を形づくっている要素」を、表現（歌唱、器楽、音楽づくり）や鑑賞の学習活動において焦点化し、相互に関わらせるような工夫が見られる。また、「音楽を形づくっている要素」をもとに児童の思いや意図に合った表現のための技能を身に付けられるように、「知識」「技能」に関する学習活動例や吹き出しが掲載されるなどの工夫が見られる。
- (3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習活動を展開するための具体的な手立てが「考える」で示され、児童の作品例やグループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されている。また、児童がワークシートを二次元コードで読み取る「ムーブの部屋」が示され、児童はつくったものを作品としてすぐに再現し、繰り返し思考することができるような工夫が見られる。
- (4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、学習のまとまりごとに、題材のねらいと、学習をふりかえるまとめを示し、学んだことをこれからの学習につなげることができるような工夫が見られる。また、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促すコラムや写真を掲載するなど、人々の生活と音楽を結び付けるような資料や教材の工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 児童の学習への興味・関心を高めるために、表紙には、該当学年で学ぶ楽曲に関するイラストや演奏されている楽器等が描かれ、学びの楽しさを伝えられるように工夫されている。</p> <p>学習内容を視覚的に示すために、折り込みを使ったワイドな写真の掲載やイラスト、色分けなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できるようになっていたり、発達の段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、「楽ふのお話」として1ページに音符と休符、五線、小節についてまとめてあり、それ以降の学習でもこのページで振り返ることができるように工夫されている。</p> <p>音程を分かりやすく学ぶために、第1学年では音の高さに合わせて体を動かす活動が設定されており、児童が感覚的に音の高さを理解できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、楽器の奏法や演奏の仕方の動画、鑑賞曲の楽器別の音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されている。また、巻末には該当学年までに学習する用語や奏法、楽譜に関する内容等がまとめてあり、学びの振り返りや定着が図れるよう工夫されている。</p>

(1) 児童の学習への興味・関心を高めるために、表紙に描かれるキャラクターの人数が、学年が上がるほど増えており、協働した学びの姿と楽しさを伝えられるような工夫が見られる。

また、キャラクターを用いて、児童の気付きや思考を促したり、活動を発展させる際の示唆を与えたりするためのヒントが随所に示されている。

(2) 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できるようになっていたり、発達段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、楽曲を学びながら音符や休符、五線等について学べるよう「かくふマスター」というコーナーが適宜掲載され、歌唱や器楽の学びを通して定着が図れるよう工夫されている。

音程を分かりやすく学ぶために、第1学年から第4学年まで適宜「ドレミ風船」のイラストが掲載され、視覚的に繰り返し音程感覚が学べるよう工夫されている。

(3) 個別最適な学びを可能にするために、楽器の奏法動画やタブレットを用いた音楽づくりのコンテンツが二次元コードによって視聴、活用できるように工夫されている。巻末にある「ふり返りのページ」に1年間の学習がまとめてあり、学びの振り返りや定着が図れるよう工夫されている。

4 地域の思いや願いに対する配慮

[観点4] 問題解決に向け、必要な情報を的確に読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫がみられるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>必要な情報を的確に読み取るために、「見る」「書く」「知る」の二次元コードが付いており、楽器の奏法や鑑賞・楽器紹介について、学びを活性化し、確かなものにする工夫が見られる。また、リコーダーや鍵盤ハーモニカの奏法が、ページを分けて段階的に掲載されており、確実に習得できる工夫が見られる。</p> <p>積極的に表現する資質・能力を高めるために、2年生以上の巻末に「音楽をあらわすいろいろな言葉」がまとめてあり、自分の思いを表現するための工夫が見られる。また、巻末に掲載されている音楽ランドの曲数が多く、発展的な学習に繋がる工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>必要な情報を的確に読み取るために、教科書の紙面右上に二次元コードが付いており、楽器の奏法や鑑賞、楽器紹介、図形楽譜の再生など、個別最適な学びをサポートする工夫が見られる。また、巻頭部分の学習マップと巻末のふりかえりのページがあることで、視覚的に学習内容が理解できる工夫がなされている。</p> <p>積極的に表現する資質・能力を高めるために、音が図形楽譜で表しており、特に低学年には知覚・感受したことを表現しやすい工夫が見られる。また、見える化された複数のアイコンと活動文をヒントにして、学びを広げたり深めたりできる工夫が見られる。</p>

研究報告書

図画工作

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 図画工作科の目標を達成するために、発達の段階を考慮し、実践に適切な季節及び行事、学習指導要領で扱われる内容や材料・用具に応じて、題材と題材のつながりを意識した構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、ICT 機器も用具の一つととらえて活用することができる場面が各題材に配列されている。</p> <p>(3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てるために「ぞうけいあそび」「え」「りったい」「こうさく」「かんしょう」の五つの分野で構成されている。身に付けた資質・能力を次の題材で生かすことができるように、表現と鑑賞の題材が連続して配列されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 図画工作科の目標を達成するために、発達の段階を配慮して題材が配列されているのに加え、他教科等に関連する題材を扱い、教科横断的な視点で学習を組み立てられるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、身近なものから諸外国の美術作品まで、多様な形や色に出会える題材が配列されている。</p> <p>(3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てるために「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「かん賞する活動」の五つの分野で構成されている。身に付けさせたい資質・能力を相互に関連させながら活動に取り組めるように、一つの題材の中で、表現と鑑賞の活動を共に扱うことができるよう構成されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 場所や材料から感じたり発想したりしたことを進んで表現できるよう、学習のヒントに対して思ったことや試したことが示されているとともに、製作のポイントが分かりやすく掲載されている。また、言語活動や協働で行うことを重視した題材が多く設定されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材で、必要な技能や作り方が丁寧に分かりやすく写真やイラストで説明されており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考を可視化するための発想を広げる「アイデアシート」などが示され、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学習したことが生活や社会に広がるよう「つながる造形」が設定されている。また、地域の美術館や外国の児童の作品などが題材の最後に紹介されており、生涯にわたって楽しく豊かな生活を創造する「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 場所や材料から感じたり発想したりしたことを進んで表現できるよう、児童同士で思ったことや試したことが示されているとともに、児童の参考作品が多く掲載されている。また、表現や鑑賞の活動を通して、友達と話し合ったり協働したりする様子が多く紹介されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材で、多様な表現方法や作り方が丁寧に分かりやすく写真やイラストで説明されており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考を可視化するためのシンキングツールや児童のワークシートなどが掲載され、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学習したことが生活や社会につながるよう「広がる図工」が設定されている。また、「教科書美術館ミニ」が題材の最後に紹介されており、生涯にわたって楽しく豊かな生活を創造する「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 巻頭・目次には、図画工作科の学習を通して育つ資質・能力が三つのキャラクターで示されており、題材を示す際に、学習のめあてとヒントを表す役割を果たしている。また、年間の学習活動が写真と五つの分野を表したマークで示されており、児童が一目で年間の学習の内容を把握できる工夫が見られる。</p> <p>巻末には、8ページの「学びの資料」を設け、材料・用具の使い方や、発想・構想のトレーニングが集約されており、主体的な活動の支援が図られている。</p> <p>(2) 題材の示し方は、活動に取り組む児童の写真や、児童作品の写真などが大きく掲載されており、紙面配置の工夫が見られる。特にその題材で重点的に育てたい資質・能力に関する学習のヒントが示されており、めあての明確化が図られている。また、QRコードを開くと、導入から発想の広げ方、用具の使い方、ふりかえりまでを確認することができ、児童が主体的に活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 巻頭・目次には、図画工作科の学習を通して育つ資質・能力がピクトグラムで示されており、題材を示す際に、学習のめあてを表す役割を果たしている。また、教科書の使い方が一つの題材を例に挙げて詳しく説明されているとともに、児童が主体的に図画工作科の学習の進め方を把握できる工夫が見られる。</p> <p>巻末には、8ページの「材料と用具のひきだし」を設け、用具の基本的な扱い方やポイントを学ぶことができるようになっており、主体的な活動の支援が図られている。</p> <p>(2) 題材の示し方は、実際の授業の様子や児童の作品と発言を掲載するとともに、「めあてのヒント」と「鑑賞のヒント」が児童の思考に沿った表現で示されている。特に、写真と関連させ、学習の流れが分かりやすい紙面配置の工夫が見られる。また、用具の使い方や作品のつくり方を二次元コードで確認できるとともに、紙面でも図や写真で示されており、児童が多様な方法で主体的に活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1)「教科書の使い方」「学習の進め方」「オリエンテーション」等、児童が問題解決に向けて学習の見通しをもつための流れを説明したコーナーが設定されている。また、各題材ごとに「あわせて学ぼう」のような、他教科等と関連させ、つなげていく横断的な活動を取り入れており、問題解決に向けての学習や表現への意欲を高める工夫がされている。</p> <p>(2)積極的に表現する資質・能力を高めるために、「みんなのギャラリー」のように、身近な学校や地域の中にある表現活動に気付かせ、児童同士のコミュニケーションを深め、協働的な学びにつなげていく工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1)「ためす・見つける中で、作りたいものを発見していく」という学習の進め方になっており、児童の問題解決に向けた学びを引き出す手立てがとられている。また、「これでかきたい」(3・4年上P36)のように、身近な材料を用いることで、表現の幅が広がり、作品に対する思考が深まる等、問題解決に向けての学習や表現への意欲を高めていく工夫がされている。</p> <p>(2)積極的に表現する資質・能力を高めるために、「友だちと作品を見て話そう」のように、他者の作品と自分の作品を比べる対話的な学びの場が設定されており、児童の見方・感じ方や相互のコミュニケーションを深める工夫が見られる。</p>

研究報告書

家庭

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へつながるよう学習内容が配列されており、児童の発達段階に応じて、系統的に学べるように構成されている。また、5学年では8題材、6学年では7題材が設定されており、題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようになっている。基礎的な知識や技能は、その多くを5学年で学習し6学年で再度学習することで、より確実な定着を図るように配分されている。さらに、各題材の振り返りや各学年末の「まとめ」を設定することで、自分の成長を実感できるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、スモールステップによる反復学習を通して基礎的・基本的な内容を定着させ、応用・発展的な内容へつながるよう学習内容が配列されており、2年間を通して系統的に学ぶように構成されている。また、5学年では「生活を見つめ、できることを増やしていこう」で11題材、6学年では「工夫して生活に生かそう」で9題材が設定されている。題材が細かく区切られていることで組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導ができる配列となっている。さらに、6学年の終わりには、2年間の学習を振り返り、中学校の学習へつながるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで学習を進めることによって、見通しをもち、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだり、実践を振り返って新たな課題を見付けたりできるようになっている。</p> <p>また、各題材の最初に「家庭科の窓」を設けて、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。さらに、巻頭に設けられた「成長の記録」では、児童自身が学びや変容を自覚しながら学習できるなど、主体的・対話的で深い学びを実現できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活に必要な知識や調理・製作実習における基礎技能を「いつも確かめよう」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。また、さまざまな写真やイラスト、動画を活用することで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 日常生活の中から問題を見だし、課題を解決するために、各題材の内容に応じて「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「深めよう」「交流しよう」が設定されている。児童同士の対話を通して、自らの考えを広げたり深めたりできるようになっており、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような手立てが見られる。</p> <p>(4) 生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、家庭で挑戦したいことを記録する「次へのチャレンジ」や、家庭での実践の進め方や実践の例を示した「生活を変えるチャンス！」が設定されている。また、学習内容に関わる仕事をしている方のインタビュー「プロに聞く！」が掲載されており、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>

<p>9 開隆堂</p>	<p>(1) 「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の流れで学習を進めることによって、見通しをもち、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだり、実践を振り返って新たな課題を見付けたりできるようになっている。</p> <p>また、各題材の最初に、「生活の見方・考え方」を四つ葉のクローバーで表し、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。さらに、生活場面を想起できる写真やイラストを用いたり、児童が見つけた課題を記入できる欄を設けたりすることで、主体的・対話的で深い学びを実現することができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活に必要な知識や調理・製作実習における基礎技能を「実習で役立つワンポイント」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。また、簡単なものから積み重ねて学習できるようになっており、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 日常生活の中から問題を見だし、課題を解決するために、各題材の内容に応じて小課題「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」が設定されている。児童同士の対話を通して、自らの考えを広げたり深めたりできるようになっており、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような手立てが見られる。</p> <p>(4) 生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、生活に活用したいことを記録する「生活に生かそう」や、課題解決のステップや取組の例を示した「レッツトライ 生活の課題と実践」が設定されている。また、学習内容に関連する取り組みや仕事をしている人の「キャリアインタビュー」が掲載されており、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>
--------------	---

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「イエッティー」「トリー」や児童のキャラクターが、家庭科の見方・考え方や学習のポイントを吹き出して具体的に示すことで、児童の学習意欲を高め、理解を深めるように工夫されている。</p> <p>(2) 巻頭に衛生・安全の特設ページや、「安全」「環境」「日々の備え」のマークとチェック欄を設定することで、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。</p> <p>(3) テーマカラーで分けられた学習内容や実習を安全に行うために手をのせて練習できる実寸大の写真を表示している。また、豊富な動画コンテンツによって、効果的に学習を進めることができるように工夫されている。</p> <p>(4) 家庭科に必要な視点である「消費生活・環境」の内容を5学年の早い段階で学習できるようになっている。また、SDGsに関する特集ページを設け、各題材の学習につなげることで、持続可能な社会をつくる消費者としての基本的な知識や態度を身に付けることができるように工夫されている。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 「クローバー」「カラフルうさぎ」や多様性に配慮したキャラクターが、家庭科の見方・考え方や学習のヒントを吹き出して具体的に示すことで、児童の学習意欲を高め、理解を深めるように工夫されている。</p> <p>(2) 巻末に安全・衛生や防災に関するページや、「安全」「環境」「防災」のマークとチェック欄を設定することで、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。</p> <p>(3) 領域を色分けしたインデックスを用い、大きさの感覚がつかみやすい実物大資料や裏表紙に野菜の切り方・ものさしを表示している。また、豊富な動画コンテンツによって、効果的に学習を進めることができるように工夫されている。</p> <p>(4) 持続可能な社会への実現に向けて日々取り組んでいる人を「キャリアインタビュー」で取り上げている。また、5学年の学習内容をSDGsの観点で振り返るページを設け、6学年の学習につなげることで、消費者として環境や資源について考えることができるように工夫されている。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 問題解決に向け、主体的に学ぶために、学習内容を生活に結び付け、学習の中で他者との交流を図り、日常生活の問題を見だし、解決できるような題材の工夫が見られる。また、全学習項目で問題解決的な学習が繰り返し行える構成「①見つけよう②計画しよう・実践しよう③生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3つのステップが示され、学習の見通しが立てやすいような工夫が見られる。そして、自分の成長を実感できる「成長の記録」が収載され、自分の生活の課題を見つけ、解決に取り組む「生活を変えるチャンス！」を設けるなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現するために、各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置しているだけでなく教科書のマークを手がかりに見方・考え方の視点を意識して学習を進めることができるように工夫されている。また、「トライシート」や「動画コンテンツ」「ワークシート」の活用により、分かったことやできるようになったことをまとめ、話し合ったり発表したりしながらこれからの家庭生活に生かそうとする工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 問題解決に向け、主体的に学ぶために、中学校への接続ページ「2年間の学習を中学校につなげよう」を配置し、系統性を意識して学習を進めることができるような工夫が見られる。また、「①気づく・見つける②わかる・できる③生かす・深める」という3つのステップが示され、「主体的・対話的で深い学び」に寄り添ったページ構成の工夫が見られる。そして、教科書の各ページに「豆知識」として、用語の説明や用具、歴史など教科書の本文と関連させた内容を掲載したり、衣食住に関する文化についての特設ページを設けたりするなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現するために、各題材の最初に「生活にかかわる4つの見方・考え方」を設置しているだけでなく、教科書のマークを手がかりに見方・考え方の視点を意識して学習を進めることができるように工夫されている。また、さまざまな「記入シート」の画像が収録されており、動画コンテンツと組み合わせたアクティブな授業を展開することができ、個別最適な学びと協働的な学びに向けた工夫が見られる。</p>

研究報告書

保健

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の進め方や学習の課題が明記され、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「資料」や「スキル」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
4 大日本	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「つかもう」「考えよう・話し合おう・調べよう」「活かそう」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「もっと知りたい」や「ミニちしき」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
50 大修館	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「課題をつかもう」「考えよう・話し合おう・調べよう・やってみよう」「生かそう・伝えよう」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「もっと学びを広げよう！深めよう！」や「体育の窓」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
207 文教社	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「Mission（学習内容）」「Stage（学習活動）」「もう一歩先の自分へ」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「Episode」「もっと知っとこう課」「もっと考えよう課」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>

208 光 文	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、「見つけよう」「調べよう・考えよう・話し合おう・やってみよう」「生かそう」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「さらに広げよう深めよう」「科学のとびら」「この人に聞く」のコーナーなどを通し、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>
224 学 研	<p>(1) 児童が見通しをもって主体的に学習することができるよう、単元の冒頭に学習内容が明示してあるほか、小單元ごとに学習の課題が明記され、課題解決の過程を「自ら取り組む活動」「対話的な活動」「活用」という主体的・対話的で深い学びを展開する構成となっている。</p> <p>(2) 健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、「かがくの目」や「つなぐ」、「ほけんのはこ」のコーナーなどを通して、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行 者	概 評
2 東 書	<p>(1)「知識」を習得するために、一単位時間の中で、記述しながら学習を進め、学習した内容を振り返ったり確かめたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2)「技能」を習得するために、軽い運動や呼吸法、簡単な手当ての方法を、イラストや動画等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3)「調べる・解決する」において、考えを整理したり、当てはまるものを選んだりして記入する場面、「深める・伝える」において、自分の生活と関連付けて考えさせたり、人の意見を聞いて分かったことを書いたりする場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1)「知識」を習得するために、学習内容をイラストや写真、図などを用いて分かりやすく示し、各時間に身に付けるべき知識を確かめることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当てを、イラストや写真等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3)「考えよう・話し合おう・調べよう」において、イラスト等を活用し、考えたことを書いたり話し合ったりする場面、「活かそう」において、学習し理解したことを、毎日の生活に活かせるように考えをまとめる場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
50 大修館	<p>(1)「知識」を習得するために、一単位時間や各章の終わりの中で、学習した内容を振り返り、自分の生活に活かそうとすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当てを、イラストや動画、朱書き等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3)「課題をつかもう」において、生活経験や資料から課題を見付ける場面、「話し合おう・調べよう・考えよう・やってみよう」において、イラストやキャラクターの吹き出し等を活用し、話し合ったり書いたりする場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>

207 文教社	<p>(1)「知識」を習得するために、各ページで理解すべき内容を学級担任や養護教諭の発言という形で示すことで、児童が自分の生活の中で活かすことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当ての方法を、イラストや動画等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3)「Mission」「Stage」において、資料等から課題を見付ける場面、イラスト等で課題解決に向けた方法が示されたり、調べたり話し合ったりする場面、「もう一歩先の自分へ」において、自分が分かったことを書く場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
208 光 文	<p>(1)「知識」を習得するために、まとめ文に★をつけて、おさえるべき内容を明確に表し、一単位時間に学習した内容を短い文章で書いて振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動やいくつかの呼吸法、簡単な手当てを、イラストや動画等で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3)「調べよう・考えよう・話し合おう・やってみよう」において、自分の考えを書いたり友達と話し合ったりする場面、「生かそう」において、学んだことをこれからの自分の生活にどう活かしたいかを考える場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1)「知識」を習得するために、一単位時間や各章の終わりの中で、学習した内容を振り返り、自分の生活に活かそうとすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2)「技能」を習得するために、体ほぐしの運動や呼吸法、簡単な手当てを、イラストや動画、クイズ形式で示し、確認しながら実践できるような工夫が見られる。</p> <p>(3)「自ら取り組む活動」において、生活経験や資料から課題を見付ける場面、「対話的な活動」において、イラストによる説明や吹き出しなどを活用し、調べたことや課題を解決するための方法を話し合う場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東 書	(1) 一単位時間4ページ、4ステップの構成で、写真や記述欄が大きく掲載され、主体的に思考しやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、導入では写真等を基にして本時の課題を見付ける活動を設定することで、児童が自ら本時の課題をもつことができるような工夫がなされている。
4 大日本	(1) 一単位時間2ページの構成で、思考の流れが矢印で示され、段階的に思考しやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、イラストを用いたり、ゲーム的な活動を取り入れたりすることで、課題意識を高め、身近な問題として思考を深めることができるような工夫がなされている。
50 大修館	(1) 各章の導入で著名人とキャラクターとの対話を取り上げることで、学習の見通しをつかみやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、他者と考えを交流する活動を位置付けることで、対話を通して、考えを広げることができるような工夫がなされている。
207 文教社	(1) 児童の思考の流れを意識した学習課題が設定されているなど、段階的に学びを深めやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、学習の終盤では自分の生活について考える機会を設定することで、児童が日常生活で実践しようとする思いをもつことができるような工夫がなされている。
208 光 文	(1) 各章の導入で学習内容にかかわる4コマ漫画を掲載していることで、学習の見通しをつかみやすいつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、発展的な資料を豊富に掲載することで、児童が自分の興味・関心に応じてさらに学習を深めることができるような工夫がなされている。
224 学 研	(1) 学習内容やキャリア教育との関連を明記することで、他学年や他教科とのつながりを意識できるつくりになっている。 (2) 特筆すべき点として、科学的な資料等を多く掲載することで、児童が学んだことを広げたり深めたりすることができるような工夫がなされている。

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習の流れにおける「調べる・解決する・深める・伝える」において主発問と補助発問が配置され、段階的に思考し学習を進めることができる。また、対話的に課題を解決していくことができるよう、考えたことや分かったことを書く活動が設定されているなど、必要な情報を的確に読み取りながら学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに、各項末には関連した学習内容に関連した資料が多数掲載されている。また、命や健康を守るために必要なスキルを扱っている資料には「スキルマーク」を付けるなど、情報活用能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として「深める・伝える」を設定し、それまでに学習したことを基に考え、筋道を立てて説明する活動を通して、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 学習の流れにおける「考えよう・話し合おう・調べよう」において、児童が自分の生活や身の回りを振り返って主体的に課題を見付け、課題に向けて思考錯誤し、思考を深めているようにしてある。また、「活かそう」においては、保健の見方・考え方を働かせて、必要な情報を的確に読み取りながら学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに各章の学習に関連した資料を「もっと知りたい!」として豊富に掲載している。また、課題を発見する活動や課題を解決する活動、学習したことを活かす活動など、情報活用能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として「活かそう」を設定し、活動を通して思考したことを記述し、対話や発表をして他者に伝えることで、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>

50 大修館	<p>(1) 学習の流れにおける「課題をつかもう」において、イラストを用いて日常生活と関連付けたり、学習活動につながる気付きや思考を促したりする発問が行われている。また、「まとめ・生かそう・伝えよう」においては、考えを広げたり深めたりすることができるような振り返りが設定されているなど、必要な情報を的確に読み取りながら学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに動画資料や「もっと学びを広げよう！深めよう！」として本文の学習に関連した資料が豊富に掲載されている。また、「体育の窓」を設け体育科との関連を図りながら学習する場面を設定し、情報活用能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として、「話し合おう・考えよう・調べよう・やってみよう」といった4つの活動を設定し、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>
207 文教社	<p>(1) 学習の流れにおける「Mission」において端的な言葉を用いて学習活動につながる気付きや思考を促したりする発問が行われている。また、「もう一步先の自分へ」では、質問やキャラクターの台詞から児童が自分自身の振り返りを行い、自分自身の身近な生活と関連付けながら必要な情報を的確に読み取りながら学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに「Episode」「もっと知っとう課」「もっと考えよう課」のコーナーを通して学習したことを基に、もっと深く考える内容を紹介している。また、学習課題を発見したり解決したりして、情報活用能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として、学習の中盤において「Clear」で児童の発表意欲を高め「Complete」で自分自身の生活を振り返り、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>

208 光 文	<p>(1) 学習の流れにおける「見つけよう」において、経験を基に考えたり、生活を振り返って健康課題に気付いたりする活動がある。また、「調べよう・考えよう・話し合おう・やってみよう」においては、自分の考えを基に他者に伝えたり、説明したりする活動が設定されているなど、必要な情報を的確に読み取りながら学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに「科学のとびら」「この人に聞く」コーナーにおいて学習内容の理解を深める資料が豊富に掲載されている。また、思考を促すキャラクターの発言や各時間にある作業課題の随所に「見方・考え方」を示すなど情報活用能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として「生かそう」を設定し、学習した知識を基に実生活や実社会で活用できる実践力を育てることを通して、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 学習の流れにおける「自ら取り組む活動」において身近な生活にある健康課題について振り返ったり、自分の生活と比べたりする活動がある。また、「対話的な活動」においては、自分で考えたことを基に人に伝えたり、説明したりする活動が設定されているなど、必要な情報を的確に読み取りながら学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに「かがくの目」「ほけんのはこ」コーナーにおいて各章の学習に関連した資料が豊富に掲載されている。また、思考を促すキャラクターの発言や、各時間にある作業課題の随所に「見方・考え方」を示すなど情報活用能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 1単位時間の学習において、習得した知識・技能を活用して取り組む学習活動として、「活用」を設定し、学んだことを基に実生活につなげるための目標を立てたり、人に伝えたりすることを通して、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>

研究報告書

外国語

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Our Goal」で単元の見通しをもたせ、伝えたいことを考える「Your Plan」を設けるなど、スモールステップで学習が進められるようにすることで、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、身近なことを伝え合う学習から世界と日本とのつながりへと、徐々に表現する対象を広げて学習を進めることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 単元の構成に関しては、「単元チャート」で本課の目標を明確にし、「Let' s Try」「Activity」「Story Time」などを通して、音声から文字へと4技能の活動をバランスよく設定するなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、複数の「Lesson」の間に「Let' s Check」を設定し、自分の成長や課題を振り返りながら取り組むことで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Panorama」で新しい語句や表現に出会い、「Let' s Listen」「Let' s Speak」「Let' s Read & Write」などを通して4技能の習得を図る活動を設定するなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「Hop」「Step」「Jump」の流れでインプットの活動から目的に応じて発表する活動へ学習を深めるようにすることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Goal」と「Review」で目標と振り返りを明確に示し、身近なテーマを設定した「Activity」や「Final Activity」を通してコミュニケーション力を高めるなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、他教科や道徳とも関連させた題材を取り扱い、他教科での学びと外国語を関連付けながら学習することで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Hop!」「Step1・2」「Jump!」で見通しをもって学習を進めたり、「Small Talk」「Plus One」「Phrase Hunt」を配置し、既習表現を繰り返し使ったりするなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「You can do it!」の活動につながるように、世界の多様な文化に触れる「世界の友達」を設定するなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Activity」を随所に配置し、インプット活動とミニアウトプット活動を繰り返し設定したり、「Did you know?」で世界の文化や習慣にも触れさせたりするなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「Pre Unit」で既習事項に触れ、いくつかの単元末の「REVIEW」で、学んだことを活用する活動を入れるなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「Your Turn」では、導入で扱った音声を繰り返し聞く活動から、学習した語彙や表現を使い、ペアやグループでのやり取りの活動へ段階的に学習する場を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「Your Plan」で伝えたい内容を整理し、単元の目標となる「Your Goal」に向け、「Enjoy Communication」において「Step1」「Step2」と段階的に言語活動を繰り返しながら内容を広げることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 各単元に「GOAL」を設け、毎時間、相手意識、目的意識をもって、他者とのコミュニケーションを繰り返し行うことができる「Let's Try」「Activity」などの言語活動を設定し、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 英語を使いながら学ぶ外国語学習を展開するために、各単元において、伝え合う目的や場面、状況などに応じ、「Let's Try」「Activity」など、ペアやグループで共に学び合い伝え合う活動を設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 各 Lesson においては、前時に学習した表現を復習できる活動を設定したり、既習事項を生かしてやり取りできる「Small Talk」を設定したりするなど、スパイラルに学習することで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各 Lesson の「Step-up」や「JUMP」では、既習事項を活用して、考えや気持ちを自分の言葉で表現できる活動を設定したり、ペアやグループで対話的に学び合う活動を設定したりすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

17 教 出	<p>(1) インプットする「Let's Listen」から無理なくアウトプットする「Activity」につなげるなど、聞く・話す活動を中心に読む・書く活動も含めた言語活動を段階的に設定し、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「Activity」「Final Activity」において、ペアやグループで互いに学び合う活動を、また、「Final Activity」において、「読む」「書く」「話す [やり取り・発表]」の活動を設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 「Hop!」「Step」「Jump!」という段階を踏んだ流れで、「Step」では、聞く活動から徐々に「話す」「書く」「読む」活動へと進めたり、既習表現の活用場面を設定したりするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各Unitにおいて、言語活動を行う「Let's try.」「Plus One」を設け、「Plus One」では、「Let's try.」で扱った話題を別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく相手に尋ねたりするなど、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 「Step1」「Step2」では、言語材料に慣れ親しむための語彙や表現のインプット活動と慣れ親しんだ言語材料を使ったミニアウトプット活動を繰り返し設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元末の「Activity」では、目的や場面、状況に沿って思いや考えを表現し、各学期末の「REVIEW」では、既習の表現を活用し、「聞く・話す」「読む・話す」など技能を統合する活動を設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 紙面全般でユニバーサルデザイン書体が使用されており、英文書体をできるだけ一筆書きになるようにしたり、小文字に配慮して4線の第2線と第3線の間幅をやや広げて書きやすくしたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、教科書の登場人物たちの模擬会話を「会話練習映像」で児童が確認し、言語活動に取り組むことで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 見やすさと読みやすさに配慮されたユニバーサルデザイン書体が用いられており、独自に開発したフォントを使用したり、1行あたりの文字数を30字以内にしたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、語句や表現の音声やリズムを確かめるために、児童が「Song Box」や「Chant Box」を活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 理解に差が出ないようなユニバーサルデザインが用いられており、ねらいや活動の内容、指示文を分かりやすく明示した紙面構成にしたり、色の見え方の違いに配慮したりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、やり取りや発表のイメージをつかむためのモデル動画を児童が繰り返し視聴して活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 英語、日本語ともに、読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用されており、書く練習をしやすいようにアルファベットに近い形状の書体を用いたり、4線の上下幅の比率が配慮されたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、「まなびリンク」を設け、音声や動画、ワークシートなどのデジタルコンテンツを児童が活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 発達の段階や教材の内容に応じた独自のフォントが取り入れられており、4線の幅に合った英語の文字や読みやすく正しい形のユニバーサルデザイン書体による日本語文字が使用されるなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、児童が会話場面を想定しやすくするために、アニメーション動画を活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 日本語と英語のユニバーサルデザインフォントが使用されており、大文字と小文字の学習に適した4線幅の比率になっていたり、誰にでも必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストに配慮されていたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、紙面の語句などの発音を確認することができる「読み上げ」機能を児童が活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

〔観点4〕 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元を通して、児童の興味関心をひくストーリーや動画が充実しており、そこから得た言語材料をもとに、別冊の My Picture Dictionary で調べながら「Your Plan」や「Let' s try」で自分に置き換えるなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。</p> <p>(2) 問題解決に向けて、「Enjoy Communication」では、コミュニケーションの目的・場面・状況が明確に設定され、自分の思いや考えを表現するためのステップや、会話を続けるための表現例が提示されており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 単元を通して、表現に慣れ親しむための「Let' s Watch and Think」や「Let' s Listen」、「Let' s Play」が充実しており、児童に興味関心をもたせながらスモールステップでゴールへ向かうなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。</p> <p>(2) 問題解決に向けて、相手意識、目的意識をもってコミュニケーション活動を行うことができるよう、場面設定が工夫されている。場面に応じて繰り返し自分のことを伝え合う「Activity」が充実しており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 単元を通して、「Let' s Watch」から「Let' s Read and Write」まで、ステップを踏んだ学習活動が充実しており、既習事項を生かすなどして、複数の単元を通して設定されたゴールに向かうなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。</p> <p>(2) 問題解決に向けて、「Panorama」では語句や表現が使われる場面を一枚絵で示し、自分にとって身近なこととしてとらえさせている。さらに「Let' s Speak」で慣れ親しんだ表現を「Let' s Try」で活用させており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p>

17 教出	<p>(1) 単元を通して、「Let's Watch」や「Let's Say It Together」で得た情報をもとに、「Think」で自分の考えをもたせることで相手に伝えようとする意欲を高め、やり取り・発表の活動に繋げるなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。</p> <p>(2) 問題解決に向けて、単元を通して児童がイメージしやすく、取り組みたくなる具体的な活動が提示されている。「Final Activity」では、ペアやグループで関わり合いを大切にしながら、思いや考えを伝える場面が明確に設定されており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p>
38 光村	<p>(1) 単元を通して、「Story」や「Let's Listen.」でインプットしたことを活用しながら、「Let's try.」や「Plus One」でアウトプットし、既習表現を交えながら学習を進めることができるなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。</p> <p>(2) 問題解決に向けて、「Let's try.」では、話すことに加え、「Plus One」の活動で、会話の続け方についての学びを設定している。さらに「Let's speak.」では、話す順序や内容を具体的に考えさせるための視点が示されており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 単元を通して、「Words and Phrases」や「Listen and Do」、「Chant」でインプットしたことを活用して、「Activity」の中で自分の考えを話したり書いたりして繰り返しアウトプットするなど、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断する工夫が見られる。</p> <p>(2) 問題解決に向けて、「Step」ごとに「Activity」が設定され、ペアやグループで何度も自分の考えや思いを伝え合う活動が繰り返されている。さらにコミュニケーションにおいて大切なことを考えさせるヒントが示されており、積極的にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めようとする工夫が見られる。</p>

研究報告書

道德

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された道徳科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行 者	概 評
2 東 書	(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年では「よりよい学校生活、集団生活の充実」、「国際理解、国際親善」等に関する教材を複数配置するなど、発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 道徳科の目標を達成するために、全学年で人物や地域に焦点を当てた「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」等に関する補充教材を設けることで、児童の実態を考慮した指導につながるような構成・配列の工夫が見られる。
38 光 村	(1) 道徳科の目標を達成するために、全学年で「生命の尊さ」に関する教材を三つずつ配置し、継続して自らを大切にすることを考えられるようにするなど、児童の発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
116 日 文	(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年で「友情、信頼」「国際理解、国際親善」等の補助教材（ふろく）を設けるなど、児童の実態を考慮した指導の充実につながるような構成・配列の工夫が見られる。
208 光 文	(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年では「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」等に関する教材を複数配置するなど、児童の発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。
224 学 研	(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、5 学年では、年度の前半に「自分自身に関すること」、後半に「集団や社会に関すること」の教材を多く配置するなど、児童の発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 各学年の巻末の「考えるためのツール」には、自分の考えを可視化し、話し合う活動を促すツールを例示し、付録で「心情円」などを掲載することで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「問題を見つけて考えよう」や「演じて考えよう」など、道徳的行為に関する体験的な学習を設定し、積極的な議論を促したり、児童の多様な考えを引き出したりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 動作化や役割演技、「やってみよう」などの体験的な学びを設定するなど、自分なりの問いをもたせたり、実際の行動と結び付けながら価値を学ばせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材末の「考えよう」「深めよう」「つなげよう」では、様々な問いが設けられており、児童の考えを深めさせたり、多様な考えを引き出すきっかけにさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) キャラクターによる問いや役割演技、3学年以上においては、思考ツールを活用し、意欲的に学習に取り組んだり、自分の考えを広げたり整理したりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 全学年の教材末にある学習の手引きでは、段階的に考えを深めていく発問や考えたことを問い直す発問を提示するなどして、児童に多様な価値観で話し合いをさせることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 巻頭に「道徳の学び方」を設け、学び方の基本を理解させたり、教材全体への見通しをもたせ、問題意識を高めさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 別冊「道徳ノート」や教材と関連した内容を取り上げた「心のベンチ」を設定するなど、自分の考えを広げさせたり、多様な価値観に触れさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>

208 光 文	<p>(1) 冒頭の問いの設定や教材末に児童の思考に寄り添う問いを提示するなど、自分のこととして考えさせたり、「どうして」「なぜ」と問い続けさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材と関連した内容を取り上げた「ひろげよう」を設定し、自分の考えを視覚化したり、学習した内容をまとめたりできる発達の段階に応じた思考ツールを掲載することで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) よりよく生きるための「心の四つのとびら」の紹介とともに、「自分が～」「あなたは～」と児童の思考に寄り添う発問を提示し、自分のこととして考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学んだことをもとに思考を広げる「深めよう」や学習したことを基に、自分につなげて考えたり話題を広げたりする「心のパスポート」を設定することで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に、1年間で学ぶことや学習の進め方・話合いのイメージをつかませるページを設けることで、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、巻末に「学習の記録」を設けることで、児童が自らの成長を実感することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材の見出しに四つの視点を表すイメージのマークを示すことで、学習する内容をとらえやすくし、教材の冒頭は主題と教材名だけを示し、先入観なく教材を読むことができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳ではこんな学び方をするよ」を設けることで、見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、教材ごとに学習を振り返る欄や巻末に「学習をふり返ろう」のページを設け、1年間の心の成長を実感したり、これからの生活に生かしていきたいことを考えたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材の題材の下にキャラクターによる吹き出しの言葉で、ねらいとする道徳的価値や教材内容への導入を図り、児童の興味・関心や問題意識を高めることができるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳が始まるよ」を設けることで、道徳の学びや1年間の学びの全体像を見通したり、話合いの仕方を学んだりすることができるような工夫がなされている。また、巻末に1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」を設けることで、発達の段階に合わせた振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、「考えよう・話し合おう」において、学習のテーマや問いを示したり、「つなげよう」で考えたことを問い直させたりすることで、児童が考えたことを日常生活で生かすことができるような工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道德のとびら」や「道德の学び方」を設けることで、1年間の学習の全体像、系統性が一目で分かり、学びに見通しをもつことができる工夫がなされている。また、別冊「道德ノート」の書く活動を通して、思考を深めたり、自分の学びを見つめ直し成長を感じられたりするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材の文頭に主な登場人物の紹介や内容に沿ったリード文を設けることで、児童の教材内容についての理解を助け、内容をイメージしながら考えたり話し合ったりすることができるような工夫が見られる。</p>
208 光 文	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「ゆたかな心」「道德の時間は、こんな時間です」を設けることで、道德の学習と日常生活とのつながりを考えながら、見通しをもって主体的に学習に取り組むための工夫がなされている。また、巻末に「学びの足あと」を設けることで、自らの成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、成長する鳥のアイコンで導入・展開・発展の発問を提示し、児童が自問自答しながら主体的に深く考えたり、考えを広げたりしながら、多様な見方・考え方ができるような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に、道德学習の進め方や1年間の学びの全体像、自分を見つめるページを設けることで、見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返るページを設けることで、1年間の自分の心の成長を感じ、これからの生き方につなげることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさについては、教材の題名の上に四つの視点をマークと色で示したり、題名の下に教材文を読みたくなるようなフレーズを掲載したりし、児童が主体的に学習することができるような工夫が見られる。</p>

4 地域の思いや願いに対する配慮

[観点4] 問題解決に向け、必要な情報を読み取り、考えを深め、判断し、積極的に表現する資質・能力を高めるためにどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように作品の情報を抑えた導入や心情表現の記述が精選されていることで、児童が多様な考えで価値について議論し思考を深めさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、教材末の「つながる・広がる」で他教科の学習や日常生活につながる問いを設定することで、様々な活動につなぐ広げさせることができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように各教材末の「考えよう」に、場面発問とテーマ発問を設けることで、教材の道徳的価値について段階的に深く思考させることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、教材の性質に合わせて、教材末の「学びの手引き」での発問の精選や自己評価という多様な表現方法を設定することで、主体的に学習に取り組ませることができるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように「道徳の学び方」を設け、「考えたいことに気づく」「より良い生き方について考える」といった学びのステップを実践的に学ばせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、「考えを深めていく教材」や「問題解決的な教材」があり、想像を膨らませたり、思考を視覚化したりすることで、自分の考えを明確にさせることができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように授業の流れに沿った「3つの発問例」を全教材に提示することで、学びの焦点化が図られ、じっくりと学習活動に取り組ませることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、「ぐっと深める」を設け、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」等の効果的な展開の様子を示すことで、主体的・対話的な学びを実現させることができるような工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
208 光 文	<p>(1) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように各学年とも、特に考えさせたい3つのテーマを「重点主題」として複数時間構成にすることで、同じテーマを多角的な視点から考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、巻頭の「話し合って考えてみよう」に例示された対話ツールを活用して多様な考えに触れさせることで、話し合いを充実させることができるような工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 必要な情報を読み取り、考えを深め、判断することができるように、思考を広げることができる「特設ページ」や内容項目が異なる教材を連続して学ぶ「ユニット教材」を設け、考えを深めさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) また、積極的に表現できる資質・能力を高めるために、教材末の「考えよう」では、自己を見つめ考えを深める投げかけや授業時間に合った適切な数・内容を示して、ゆとりをもって児童が表現させることができるような工夫が見られる。</p>